



ナチスの戦争 1918—1949 民族と
人種の戦い

リチャード・ベッセル 著

大山 晶 訳

220781169 野畑駿太郎

この本を選んだ理由

ヨーロッパを旅行してみて、戦争の跡地を沢山見たことで、ナチスの戦争について知りたいと感じたため

目的：第一次世界大戦
後のドイツから第二次
世界大戦、そして戦後
の復興までの広範囲な
時期を、ナチスのイデ
オロギーや政策がどの
ように形成、実行を模
索



序論：ナチス政権の背景

1

ナチスの人種政策がどのように形成され、実行され、結果的に何をもたらしたのかを明らかにすることを説明

2

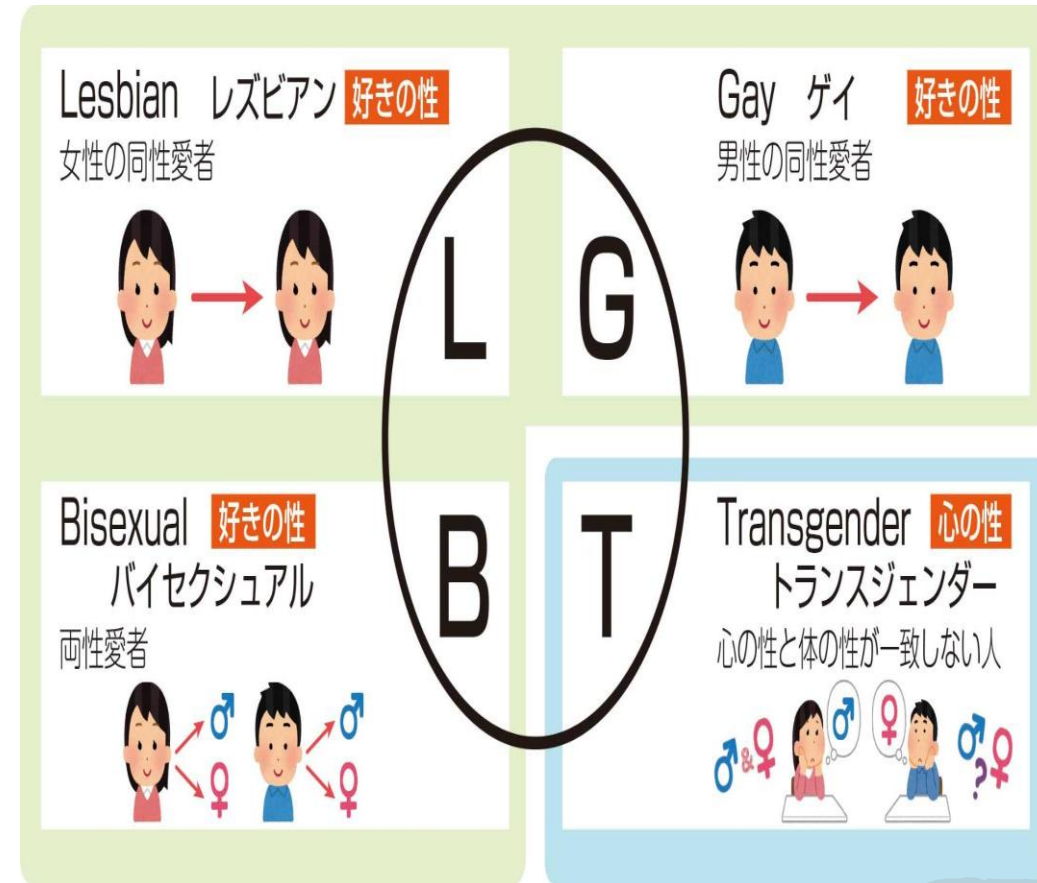
第一次世界大戦後のドイツは、経済的、社会的な危機に直面し、多くの人々が民族的アイデンティティを再確認

3

この文脈の中で、ナチスは「アーリア人の優越性」を強調し、他民族に対して敵対感情を煽ることで支持を集約

第一章：ナチスのイデオロギーと人種観

- 1：ナチスのイデオロギーは、特定の人種や民族を劣等と決定、アーリア人の優越性を主張
- 2：ユダヤ人、ロマ、同性愛者、障害者など、ナチスの政策の対象とされた人々は、劣等な存在
- 3：このイデオロギーの背後には、社会的、経済的な不安があり、ナチスはこれを利用して国民を団結させることに成功



アーリア人の優位性とは

1. ヒトラーやその支持者によって作られたアーリア人（北欧系の白人）を「最も優れた人種」として定義
2. ナチス・ドイツは人類を人種的に階層化、アーリア人を最上位へ
3. 他の人種（特にユダヤ人、ロマ、スラヴ系民族、アフリカ系など）は「劣等」
4. ナチスは「アーリア人の純粋性」を非常に重視し、血統の純粋性を守ることを必要
5. この思想は今日では全く支持されておらず、平等と人権を重んじる現代の価値観においては完全に排除

第二章：ナチス政権の成立と戦争の勃発

ナチス党が政権を掌握した1933年以降、ドイツ国内での民族浄化政策が急速に促進

ユダヤ人に対する法律や迫害が強化され、国家全体が人種政策に従事

1939年には第二次世界大戦が勃発し、ナチスの民族浄化は戦争の枠組みの中でさらに加速

ドイツ国内の民族浄化政策とは

1. ドイツ国内の民族浄化政策とは、主にナチス・ドイツによって実施された政策
2. 特定の民族や人々を排除し、消滅させることを目的とした行動
3. ホロコーストが最も有名で、他にも色々な民族に対しての迫害や虐殺などが内包
 - I ユダヤ人に対する迫害（ホロコースト）
 - II ロマ（ジプシー）や障害者に対する迫害

ロマとは：インドを発祥の地とし、6～7世紀から移動を開始

ロマは現在、ヨーロッパを中心に世界中で居住

ロマについての深掘り



- ロマは現在、ヨーロッパに多く住んでいるが、他にも、アジアの一部、北アフリカ、アラブ中東諸国、南北アメリカで生活、そのほとんどは定住化
- EUの設立後はロマの待遇の改善が図られるが、現在でも貧困や差別が存在
- その課題として、雇用や教育、住居など数多くの問題が存在
- 社会全体がロマへの差別を撤去、解決が重要

第三章：戦争とホロコースト

1：戦争の促進中、ナチスは「最終解決」として知られるホロコーストを実行

2：この過程では、ユダヤ人だけでなく、ジプシーや同性愛者、精神的・身体的障害者なども対象、約600万人が絶命

3：ホロコーストのプロセスや、その背景にあるイデオロギーについても説明



第四章：戦争中の社会の反応と協力

ナチスの政策は、一般市民の中にどのように受容、あるいは抵抗されたのかも説明

多くの市民がナチスのプロパガンダに影響を受容、積極的に協力した例が枚挙

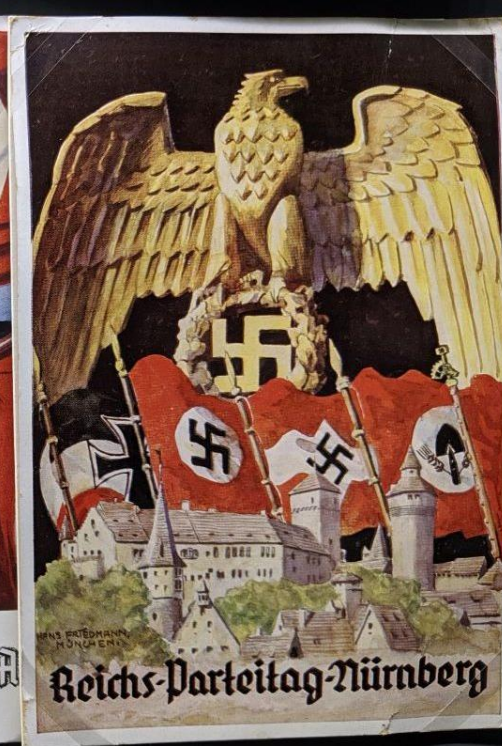
また、戦争中には抵抗運動も存在

その多くは孤立しており、大規模な変化をもたらすには至らず

ナチスのプロパガンダとは

1. プロパガンダ：ある主義や思想などを世間に信じ込ませる宣伝活動

2. プロパガンダ（簡約記事）ナチス政権は、ドイツ国民を動員して征服戦争を支持させるためにプロパガンダを利用



第五章：戦後の復興と歴史認識

1：第二次世界大戦の終結後、ドイツは戦争の悲劇からどう立ち直り、どのように自らの歴史と向き合っていたのかが重要

2：戦後のドイツ社会における記憶の構築や、教育制度における戦争の扱いについて分析を実行

3：国民の意識は徐々に変化し、過去の過ちを認識する動向が認識

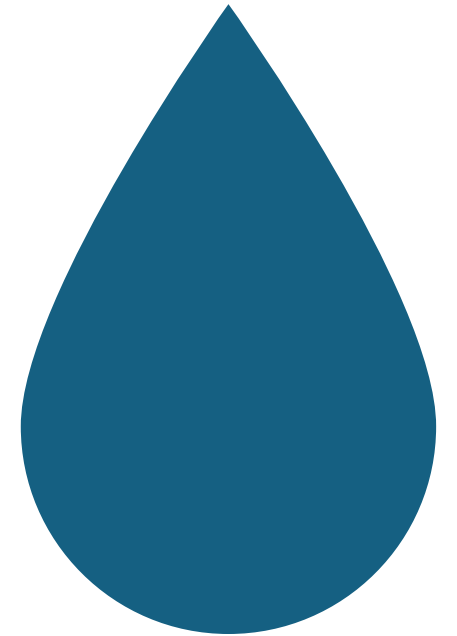


第六章：現代への教訓

1：ナチスの歴史から現代にどのような教訓を引き出すべきかについても説明

2：民族や人種に関する問題は現代社会でも続いており、過去の教訓を忘却しないことが重要であると強調

3：ナチスの台頭がもたらした人間の尊厳の侵害は、未来に向けた警鐘



結論

1：『ナチスの戦争 1918-1949』は、ナチス政権の形成とその結果について深く掘り下げた作品

2：民族と人種の観点から歴史を理解するための貴重な資料

3：この本は、歴史を学び、反省、未来を見据えるに重要

